

2020年 2月14日
九州電力株式会社
玄海原子力発電所

試運用フェーズ3実施後の振り返り
(確認対象：重大事故等対応訓練のシナリオ)

2020年2月12日(水)～14日(金)の3日間「重大事故等対応訓練のシナリオ」のチーム検査試運用を実施いただきましたが、弊社としても原子力規制庁殿の確認の視点や検査に必要な情報を理解することができました。

今回の試運用を通じての弊社からの意見は以下のとおりです。

- 今回の検査対応は、事前に提出資料をご指定いただいたこと、原則フリーアクセスにてご対応いただいたこと及びインタビュー形式での質疑応答であったことから、事業者としての負担は少なかったと思います。
- チーム検査の日程調整、事前提出資料の送付等は、基本的に原子力規制部殿と電話、メール等で実施しましたが、詳細な時間調整、手続き関係の調整等にて時間を要した部分がありました。チーム検査は原子力規制部殿主体の検査ではありますが、玄海原子力発電所内のことをご理解されている玄海原子力規制事務所殿を通じて対面での調整をさせていただいた方が、タイムリーな調整が実施でき、かつ、情報や認識の齟齬も生じにくく、効率的ではないかと思えます。
- 今後も試運用フェーズ3を通じて、コミュニケーションを図り、2020年4月からの本運用に向けて、相互理解を深めていければと思います。

以上